

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

奥の細道
むすびの地
大垣



令和八年二月度 入賞句一覧

投句数 八百十七句

名和 よちゑ 選

特選

はるのかぜヒュルンとまちをおどろかす

大垣市

ひび はるの(小二)

静かに眠っていたような町が、「ヒュルンと」吹いた春風に目覚めたようです。町並みや人々の暮らしまでもが生き生きと変わり、とても楽しい句になりました。「ヒュルン」というオノマトペで、少しいたずらな春風をうまく表現しました。身体に感じたままを素直に表現し、心あたたまる一句となりました。

マフラーを外す理由を風は知る

加茂郡川辺町

木下 仁瑚(中二)

マフラーをなぜ外したのかは、風だけが知っている。細やかな心境を風に託しています。ただ単に暖かさを感じて外したのか、また待ち合わせをして心が熱くなつていく様子なのか、いろいろと読み手の想像をかき立てます。言いすぎでない点が成功した一句と言えます。

凍る窓名を書いて消す冬の恋

加茂郡川辺町

吉田 心優(中二)

寒さで窓ガラスが凍りついていきます。指で好きな人の名前をそつと書いても、ほどなく消えてしまいます。書いては消して、初めて人を好きになる冬の恋の想いが伝わってきます。「凍る窓」と恋する熱い心の対比がうまく表現されました。

秀逸

立春の風の鋭き予報かな

加茂郡川辺町

加藤 凜太(中二)

冬空にテスト終わりの深呼吸

加茂郡川辺町

石丸 奏太(中二)

冬の朝太陽のねぼう真つ暗だ

加茂郡川辺町

市川 星夏(中二)

楽しさとさみしさ混じりて年を越す

加茂郡川辺町

佐脇 優(中三)

書初めや夢の一字がゆがんでる

大垣市

市川 椋一(小六)

初日の出かんせい上がる山の上

大垣市

陸田 峻生(小四)

さむいあさこおりパリンとふんづけた

大垣市

足立 修哉(小二)

陽をあびてあせがしたたる雪だるま

大垣市

子安 美琴(小三)

ゆきがふるさむいたのしいごちやまぜだ

大垣市

岩田 結衣(小三)

さむいよるふとんのなかであすのこと

大垣市

だしるば みき(小四)

入選

小中学生の部

初日の出きれいなたいよりのぼってる

大垣市

椿 栞奈(小四)

寒月や足音ひびく夜の橋

加茂郡川辺町

福井 愛琉(中一)

雪だるまみんなの話聞いている

加茂郡川辺町

木下 さら(中一)

野球部の冬練山に登ってく

加茂郡川辺町

田口 璃人(中一)

長廊下凍橋のようにわたりゆく

加茂郡川辺町

平岡 初月(中一)

朝方の笑顔の犬の白い息

加茂郡川辺町

土屋 龍弥(中三)

外灯にパツと照らされ雪だるま

加茂郡川辺町

松岡 怜美(中三)

降る雪は静かな街を包み込む

加茂郡川辺町

木下 愛琉(中三)

しゃぼんだまあわあわわとんでいく

大垣市

いしばし りれい(小一)

ゆきだるまおおきいからだかわいいな

大垣市

三日月 颯真(小三)

家族とねこたつでねてたら川の字だ

大垣市

折戸 惺奏(小四)

ふゆのつきのなみだがこぼれた龍の玉

大垣市

いちかわ ひなた(小四)

寒い冬かぞくがいてねあつたかい

大垣市

森内 莉依菜(小四)

雪原の野原に鶴が立っている

大垣市

悪七 悠理乃(小四)

かくれんぼ雪にばけてる白うさぎ

大垣市

子安 ひろと(小三)

冬の朝ふとんぐるぐるかたつむり

大垣市

いな川 ゆい(小三)

銀世界さいしよに足あとつけるんだ

大垣市

し水 そう太(小三)

山のいろぐんぐんかわるこうようだ

大垣市

はらだ ゆうや(小三)

雪の中犬がはしってもこもこだ

大垣市

田中 晴き(小三)

せつぶんはおにこわすぎてなきまくる

大垣市

田なべ よしゆき(小三)

選者吟

マネキンののつぺらぼうに風光る

よちゑ

